

手 私 事

TAKEFREE

0 2

〇〇の冊子に使用している写真は著作権法上、無断転載・使用を禁じられています。

重力からの解放


PROSOL

SHOP LIST

広島県内に7店舗展開。お気軽にご来店ください。

PROSOL 山本店	広島市安佐南区山本1-8-19	TEL.082-874-9900
PROSOL 五日市店	広島市佐伯区五日市駅前2-18-1	TEL.0120-39-6797
PROSOL 大町店	広島市安佐南区大町西1-4-38	TEL.082-831-5205
PROSOL 紙屋町店	広島市中区大手町1-4-4ヌキナビル2F	TEL.082-545-5662
PROSOL 宇品店	広島市南区宇品御幸3-2-6	TEL.082-254-2345
PROSOL COCORO店	広島市安佐南区伴南1-5-18-8西風新都ゆめビル102	TEL.082-848-5020
PROSOL 廿日市店	廿日市市平良山手10-33	TEL.0829-30-8670

WEB SITE

最新のヘアスタイルから、情報満載のブログまで。トピックス満載のプロッソルWEB SITEを、ぜひご覧ください。

<http://www.prosol.co.jp>



重力

からの解放

— 美しさを育むとは、何か。—
わたしたちは今回、そのひとつの答えを求めて、
広島のアトリエを拠点に国内外でご活躍されている
鍛冶職人・岡本友紀氏のもとへお伺いしました。
ひとりのプロフェッショナルの手によって、
一塊の金属が、ひとつの芸術作品へと形を変えていく。
重く、固い「鉄」という物質から生み出される、
羽根のように軽やかで、植物のようにしなやかな曲線美。
常にひとのこころを打ち続ける
美しさの秘密をご紹介します。

光によって生み出される幻想的な影。

シャンデリアやライト、燭台などの照明をはじめ、手すりやフェンス、テーブルやイスなど…。それらひとつひとつの作品は、棒状や板状の鉄を、炉やガスバーナーで熱し、叩き、成形していく制作行程を経て生み出される一点ものばかり。まさに力仕事といえる制作行程の中で、岡本さんが特にこだわっているのが、

ライン出しだという。「作画的に曲げられたラインではなく、ここにあるべくして曲がっている、ここにあるべくして配置されている。そんな自然なラインを、いかに生み出せるか。」無機質な鉄という素材から生まれる岡本さんの作品が、有機的な美しさを持つているのは、そんな細やかなライン出しへのこだわり

によるものなのかもしれない。そしてまた、岡本さんの作品には、もうひとつの大きな特長がある。それは、ランプやロウソクの光に灯されたときに浮かび上がる、幻想的な美しい影。「鉄を叩くときも、どんな影が現れるかをイメージしながら叩いています。そして、作品完成後に自分が想像していなかった影

が現れることも、モノづくりの楽しさだと考えています。」そんな岡本さんの言葉ひとつひとつには、細部にまで美しさを求めるプロフェッショナルとしての信念に溢れている。ひとりの職人によって身軽さを手に入れた一塊の鉄。それは姿を変え、今日もまた人々の生活の中へと羽ばたいている。

la forgerone ホームページ
岡本さんの作品も多数掲載されていますので、是非ご覧ください。
<http://forgerone.com>

解 放

la forgerone

岡本 友紀

それは、羽根のように。植物のように。

あるときは、ふんわりと軽やかに仕上げ、またあるときは、しっかりとボリュームを持たせる。髪を持つ「見た目の重さ」を自由にコントロールするヘアメイクアーティストのように、鉄という素材を持つ「見た目の重さ」を自在に操る鍛冶職人がいる。「la forgerone（ラ・フォルジュロン）岡本友紀さん。広島のアトリエを拠点に生み出される岡本さんの作品には、ひとつの大きなテーマがある。それは、重力からの解放。ときに羽根のように、ときに植物のように、まるで重力から解放されたかのような軽やかで柔らかな表現作品は、これまで鉄が持っていた「固く」「重たい」イメージを大きく変え、多くの人々を魅了し続けている。「人は鉄に対して、重い」というイメージを潜在的に持つ

ています。モノの重力を変えることはできないけれど、見た目を軽い印象に仕上げることで、鉄が持つイメージ自体を変えることはできないか。岡本さんは、そんな想いとともに制作に取り組んでいる。そんなふうには、これまでになかった新しい作風で注目を集める岡本さんのキャリアが始まったのは、今から19年前のこと。広島のカフェで出会った鉄製のインテリアに「目惚れし、作者である鍛冶職人に弟子入りを志願。当初、師匠には「女性には難しい」と拒まれたが、最後には、その意志の強さで弟子入りを許可され、それまで勤めていた証券会社を退社。鍛冶の世界へと飛び込んだ。その後、師匠のもとで約10年間修行し、独立。現在では、その活動のフィールドを国内外へと広げている。

育むプロッソル



カメラが育てた、スタイリスト。

美容業界において、スタイリストたちは自らの作品を写真に残し、ブックと呼ばれる作品集にそれらを収めている。プロッソル五日市店スタイリスト坂井 泰平も、そのひとりだ。元々は、そんな仕事の一環として始めた「カメラ」の持つ奥深い世界に、坂井は徐々に魅せられていく。そして、スタイリストとしてデビューする前から作品撮りを繰り返していくことで、ヘアスタイルのバランス、ファッションの知識、被写体とのコミュニケーション能力などを身につけていった。「被写体を美しく撮ること。空間におけるバランス感覚を養うこと。それら仕事に役立つスキルは、カメラをとおして身につけてきた。」「カメラの楽しさに出会えたことで、作品撮りの回数もここ数年、急激に増えてきた。そのことが、スタイリストとしての成長にもつながっている。」

坂井にとってカメラ技術の成長は、そのまま美容師としての成長に活かされているのだ。当初は会社で支給されたカメラを使用していたが、現在ではプロカメラマンが使用するものと同じ、本格的な機材を自ら購入。さらに、その腕を磨き続けている。



そんな坂井にとって最大の目標は、日本最高峰の美容フォトコンテスト「あゑJHA(Japan Hairdressing Awards)」において、セルフ撮影の作品で入賞することだという。過去、このコンテストで入賞を果たしている作品は、カメラマンとスタイリストが別々の人物であることがほとんど。自らの作品を自ら撮影し、入賞を手にすることは極めて異例のことなのだ。そんな挑戦を続ける坂井には、もうひとつカメラを続ける理由がある。「自分が撮影した写真で、ひとを感動させてみたい。」それは、美容というフィールドにおいても、まったく同じ想いを抱いている。お客様の求める美しさに応えながら、ひとつ上のサービスを提供していくことで、感動を届けるヘアメイクアーティストへ。

「もし、100人のお客様がいるとしたなら、100人すべてのお客様にご満足いただけるようになりたい。それこそ、本当の意味でのプロフェッショナルだと思う。」高みをめざし、成長することを止めない彼の中にあるファインダーは、常にひとつ上の風景をとらえている。

めざすのは、感動を生む仕事。



坂井 泰平／五日市店 スタイリスト

育むプロッソル

縁

段階を経て、
成長していく楽しさ。

カラー、ブロー、パーマの基本技術を身につけた後、マネキンを使用したカット、モデルのカットへとステップアップしていく。プロッソルのアシスタントは、それぞれの段階で一定の試験を受け、その後スタイリストオーディションと呼ばれる最終試験をパスすることで、晴れてスタイリストとしてデビューする日を迎える。お客様の髪を直に扱うという責任があるため、合格基準は極めて厳しく、その道は決して甘いものではない。現在、黒川はパーマの技術を習得中の段階だが、厳しい修業期間の中にあっても、そこにはひとつの楽しさがあるという。「厳しい試験だからこそ、合格できたときに達成感がある。段階を経て、自らが成長できていることを感じることもできたとき、それは喜びに変わる。」ひとを喜ばせたいという想いで飛び込んだ美容という世界。そんなフィールドで、自らの成長を喜びと感ずることができるようになった黒川には、ゆっくりではあるが、確実にスタイリストとしてのデビューの日が近づいている。

造

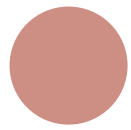
育

それは、喜びを育む仕事。

ひとを喜ばせたい。プロッソル山本店アシスタント 黒川 尚紀が美容師をめざしはじめた原点には、そんな想いがある。たまたま実家にあつた美容ハサミで友人の髪をカットしたところ、予想以上に喜んでくれたことが、今でも忘れられないという。ひとに喜ばれる仕事。黒川は美容という世界に、それを見つけて、現在でも「お客様にとつて喜ばれるサービスとは何か」を常に考え続けている。そんな黒川が小学1年生の頃から続けているのが「書道」だ。たとえばここに「育」という漢字がある。そのひと文字を書くとき、そこにはいくつかの表現方法が存在する。草書、行書、楷書、隷書、篆書……。さらに書き手によっても、その仕上がりは大きく変わってくる。「筆をいかに扱うか、どんな字体を選択するかなど、書き手によつて文字の仕上がりが大きく異なるように、ハサミをどのように扱うか、誰が担当するかによつて、ヘアスタイルの印象は変化してくる。そんな点でも書道と美容は似ていると思う。」いま、まったく別々の世界に存在していた2つの点は、黒川というひとりの人間をとおして深くつながっている。

黒川 尚紀 / 山本店 アシスタント

読



む

短歌と文
杵野浩一

心から信じることは少なくて
「場数を踏む」という言葉とか



illustrator Asuka Kitahara

昔は酒を一滴も飲めなかったが今は飲めるようになった。というような言説を信じて

いない。その人は気づかなかっただけで最初から飲める体質だったのではないのか。百歩

ゆずって「訓練で飲めるようになる体質」というものもあるのかもしれないと思う。でも

私が同じ体質であると決めつけないでほしい。まあ私はほんの少しなら飲むですが。

短歌塾のようなことを長くやってきたのだけれど、今はおしえることに対する情熱が

失せてしまった。身もふたもないことを言う。短歌は生まれつきの才能がほとんど全部なん

じゃないか。センスのある人は最初からうまい。そうでない人も少しは上達するが、センスの

ある人はもともと上達する。短歌のような「絶滅したも同然」の文芸ジャンルでは物凄い

才能しか生き残らない。初心者でもプロに勝てる一首をつくれることはあるから、短歌を

つくることはだれもが試みればいいと思う。けれど（努力が評価されるのは義務教育まで！）

という、おかざき真里の漫画のセリフをどうしても思いださずにはいられない。

短歌に関しては努力というものを一切したことがなかった。好きでやってしまうことを

人は努力とは思わないものだ。このごろ、短歌を広めるための芸人活動をやっていると、自分

には短歌の才能があるんじゃないかと今さらながらに痛感する。お笑いの才能はそれに

くらべたら、ないに等しいかもしれない。

才能がないかもしれないと自覚していても、やりたいことはやりたいのだ。そんな気持ちは

初めて味わった。そうだったのか。短歌の才能が明らかにないのに短歌をつくりたい人は

こんな気持ちだったのか。色んな方向から私めがけて、石が飛んできている気がします。

短歌の才能はともかくとして、かつて私は人前で話すのが苦手だった。必要にせまられて

人前で話すことが増えたから、テレビに出ても緊張しなくなった。そのずうずうしさを芸人

活動に活かすことならできるだろう。習うより慣れる、という慣用句は信じている。



ますのこういち

杵野 浩一

1968年生まれ。短歌集、小説、エッセイ、詩集
など著作多数。高校国語教科書（明治書院）
に短歌が掲載されている。BSフジ「珈琲歌人」
毎週土曜日18:30～出演中のほか、芸人コンビ
「詩人歌人」としても活動中。「杵野書店」店主。

PROSOL

「誰かのお役に立つこと」を企業理念のひとつとして掲げるプロツソル。
そんなわたしたちが、現在行っている活動の一部をご紹介します。

髪に潤いを与えるコラーゲン配合。
オリジナルシャンプー＆
トリートメント。



【PRICE】
プロツソル オリジナルシャンプー＆
トリートメント
「La nani(ラ・ナニ)」
シャンプー 300ml 2,500yen
トリートメント250g 2,500yen

お客様の声を直接聞くことのできるわたしたちだからこそ、皆様が本当に求めているヘアケア商品をお届けすることができないのではないかと。オリジナルシャンプー＆トリートメントの開発は、そんな想いとともにスタートしました。わたしたちがこだわったのは、なによりも成分。たとえば、コストが高いため、一般的な商品や美容院専売品などにも、ほとんど含まれていない保湿・補修成分「コラーゲン」を配合していることも、そのひとつ。さらに、「コラーゲン」と相性の良いビタミンCを多く含む広島県産レモン果汁エキスをブレンド。香りにもこだわりました。さらにシャンプーは、トリートメント成分などが浸透しやすいノンシリコンタイプ。このように一般的なヘアケア商品にはない厳選された成分を使用していますが、多くのお客様に使っていただくために、メーカーを通さず、お手頃な価格にてご提供していきます。お客様の声に耳を傾け、お客様が喜んで使ってくださいることをイメージしながら作ったオリジナルシャンプー＆トリートメント「La nani(ラ・ナニ)」。2014年5月中旬、プロツソル全店で発売予定ですので、是非お試しください。

カンボジアの未来を育む、
社会貢献活動。



1970年代に起こったポル・ポト政権下の大量虐殺により、国民の平均年齢が約27歳ともいわれるカンボジア。若い力があっても、その子どもたちを教育する大人の存在が、現在のカンボジアにはありません。わたしたちは、そんなカンボジアに実際に赴き、現地での教育支援活動を行っています。2014年1月には、紙屋町店 店長MALIが、現地の職業訓練校にお伺いし、美容師をめざしている若者たちにカットの技術をレクチャー。ハサミの持ち方から、基本的なカット方法まで、その技術を伝えてきました。このような社会貢献活動は、ときとして支援側のエゴになってしまうこともあるかもしれませんが、しかし、カンボジアの人々が、本当に必要としている知識や技術を、プロツソルが持ち合わせているのであれば、わたしたちは行動したいと思うのです。プロツソルにできることは、何か。そして、カンボジアの人々を幸せにすることができると、本当の意味での「支援」とは何か。これからも、自分たちの価値観を一方的に押し付けることなく、ハサミでできる社会貢献活動が続けていきたいと考えています。

日本女性の髪を、 もっと華やかに。

たとえば、夏の湿気によるうねりや、冬の乾燥によるパサつきなど…。
季節ごとに表情を変える日本の気候は、ときに髪のトラブルの原因となることがある。
そんな気候によるダメージの他にも、年齢とともに変化する髪質や、
ヘアカラー・パーマによるダメージなど、髪の悩みはひとそれぞれ違うもの。

そこでおすすめしたいのが、多彩な商品ラインナップで、
ひとりひとりの髪のトラブルを解決してくれる「オー ज्या」シリーズ。
まずは、プロッソルスタッフがあなたの髪をカウンセリングし、髪の状態を診断。
エイジングケア、ヘアケア、スカルプケア、クライマティックケアという
大きく4つの目的に分かれた「オー ज्या」シリーズの中から、
あなたの髪に合ったベストな商品をご提案。
サロンでのケアからご自宅でのホームケアアドバイスまで
あなただけのヘアケアプログラムを作成してくれる。

そんな「オー ज्या」シリーズの大きな特徴としては、全シリーズに配合されている
「アミノスプリング」という成分がある。この「アミノスプリング」は、
電子顕微鏡では見えない毛髪深部「α-ヘリックス」を補修してくれるもの。
欧米人と比べ、日本人の髪はこの「α-ヘリックス」が傷みやすく、
本来持っているしなやかで弾力のある髪を失ってしまう原因となってきた。
その原因を突き止めて開発された「オー ज्या」シリーズは、
まさに繊細な日本人の髪にマッチしたヘアケア商品だと言えるだろう。
さあ、今すぐあなたも「オー ज्या」シリーズで弾むような美しい髪を、手に入れよう。



「オー ज्या」シリーズについて、詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.auja.com/product/>



PRO1 GRAND PRIX（プロッソル）
インターネット投票3月中旬スタート！
プロッソルのスタッフが、自らの持つ技術力を
競い合う「PRO1」。本コンテストでは、日頃サロ
ンでお客様にご提供している「サロスタイル」
のヘアメイクではなく、美容師ひとりひとりの
感性や創造力によって生み出された「クリエー
ション」と呼ばれる作品で審査。コンテストを
通じて技術力・コーディネート力を磨き、お客様
へのサービスに還元していくことを目的として
います。そんなPRO1のグランプリが、あなたの
投票によって決定します！是非、下記ホーム
ページよりアクセスして投票してください。

投票はコチラから！ [プロッソル](#) [検索](#)



PRO SOL NEWS

プロッソル廿日市店 オープン！
昨年10月のオープン以来、多くのお客様にご
愛顧いただいているプロッソル廿日市店。ここ
からリラックスしていただける、落ち着いた雰
囲気の店内では、ヘアメイクだけではなく、ネイルや
まつ毛エクステなど、お客様のあらゆるご要望
にお応えしています。是非、ご家族・ご友人お誘い
合わせの上、お気軽にご来店ください。

廿日市市平良山手10-33
TEL.0829-30-8670



アイラッシュキャンペーン実施中！
多くのお客様からご好評をいただいているプロッ
ソルのアイラッシュ。医師によって処方された安全
性の高いグルー（接着剤）で、MIUS LUSHという
人工毛を自まつ毛に付けていきます。つけまつ毛の
ように直接皮膚に貼り付けるものではないので、
涙や汗でも取れることなくご自身のまつ毛のように
扱えます。只今、お得なアイラッシュキャンペーン
も実施しておりますので、是非お試しください。